

[第 125 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和 4年 4 月

NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 4年 5月 7日(土) 15時~17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.71~ (用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

4 月 9 日(土)午後、安曇川公民館で第 124 回人間学塾を開きました。今回の参加者は 8 名でした。

■ 今回の部分 中江藤樹著『鑑草』の第一巻の第 2 話「三代の孝行な嫁」、第 3 話「三人の不幸な嫁に天罰が下る」

- あらすじ 第 2 話「ある一家に様々な困難な状況が押し寄せたが、三代にわたる婦人の孝行のお陰で一家に大きな幸福が訪れたという話」
第 3 話「姑に孝行を尽くさず姑いじめをしていた三人の嫁に天罰が下りて身体が畜生(獣)に変わってしまったという話」
- 教訓 親孝行は獣にはできず人間にしかできない。孝行をするところに人間の価値があるのにしないのは獣と同じと教えている。
- 参考資料 (1)江戸封建時代の女性の生き方とは対極にある、平川理恵さんの生き方…彼女は、トップ営業社員、起業家、民間人校長などの経歴を経て、現在は広島県にて様々な教育改革の陣頭指揮を執っておられますが『大学』等の古典への造詣も深い方です。
(2)五木寛之『元気に下山』に記載されていた内容…これらは『鑑草』を客観的に考えるため。
- 時事問題 ロシア・プーチンのウクライナ侵攻に関して、藤樹先生の『翁問答』にある「福善禍淫」の項から考えてみた。それには、善行をすれば五福が起こり、悪業をすれば、六極が起こると説いている。しかしその通りにならないことがある。それは、本人の運勢の強い間は悪を抑えられないようなことが起こることがあるが、運勢が弱まれば、悪人は必然的に六極から逃れられなくなる。…プーチンは運勢が弱まれば失脚し汚名が後世に残るだろう。
- フリートーク 「近年、若い世代の離婚が増えている」→それは親から辛抱することを教えられていないからだろう。「辛抱なくて離婚しても生きていける豊かな世の中である」、「離婚すると子供が虐待を受けるケースが多い」→人類は知識の蓄積はでき豊かになったが思いやりの精神など人間学は一から学ぶ必要がある。「他方で、大谷翔平選手のような傑出した人が出てくるのはなぜか」、「自分の頭で考えることができる選手が伸びている」…等の意見、感想をいただきました。
- 学ぶは愉し！次回は5月7日(土)15 時から安曇川公民館で行います。『鑑草』第 2 巻の序と第 1 話です。無料です！